



産褥期の助産診断・技術学

2026年7月2日

高橋

Vol.2

本日の授業内容



本日はこちら

①産褥1日目の予測
～情報の読み取りと解釈～

②予測から導き出した
助産ケアを考えよう



産褥1日目の経過①



10:00

- S: 夜は少し休めました。傷は立ったり座ったりすると痛いですが痛み止め飲めば大丈夫です。最後は朝ごはんの後に飲みました。トイレに行きたい感じは少しわかるようになってきました。なるべく時間でトイレに行くようにしています。水分は500mlくらい飲んでるかなと思います。今日からシャワーを浴びてもよいですか？
- O: 悪露交換実施。創部腫脹・離開なし。出血少量。悪露交換後、シャワー浴実施。気分不快・めまい・ふらつきなし。尿意は回復傾向にあり、残尿感なし。

産褥1日目の経過②



11:00

S: 今日から同じ部屋で過ごせるので嬉しいです。出来れば母乳で育てたくて…これからおっぱいってでてきますか？まだ抱っこも慣れないですが、少しずつ頑張っていきたいです。

O: 初回授乳指導・母児同室指導実施。本日より母子同室開始する。
母乳希望あり。表情良い。

Ⅱb型短乳頭。左右2～3本開通、にじむ程度。乳頭硬め、伸展性、柔軟性不良のため、乳頭マッサージ後に交差横抱きにて直接授乳実施。手技はぎこちないが見守りにてポジショニング良好。

介助にて吸啜できるが、徐々に浅飲みになる傾向あり。

5分1クールずつ授乳後、ミルク10ml補足した。児の哺乳力良好。

産褥1日目の経過③



14:00

S: 13時ごろ1回泣いたのでおっぱいあげてみましたが、ちょっとだけしか吸ってくれませんでした。今、おしっこをしていたのでおむつをかえたところです。さっき目を開けてくれたので夫に写真送りました。かわいいですね。

吸い付くまでに時間がかかってしまいます。授乳って難しいですね。

O: 訪室すると児に話しかけながらおむつ交換をしている。

手技はスムーズ。おむつ交換後、自ら乳頭マッサージを行う。

乳頭痛なし。交差横抱きにて授乳実施。乳頭短く吸啜までに時間がかかるが、介助にて吸啜良好。

5分1クール授乳後、ミルク10ml補足。児の哺乳力良好。

課 題



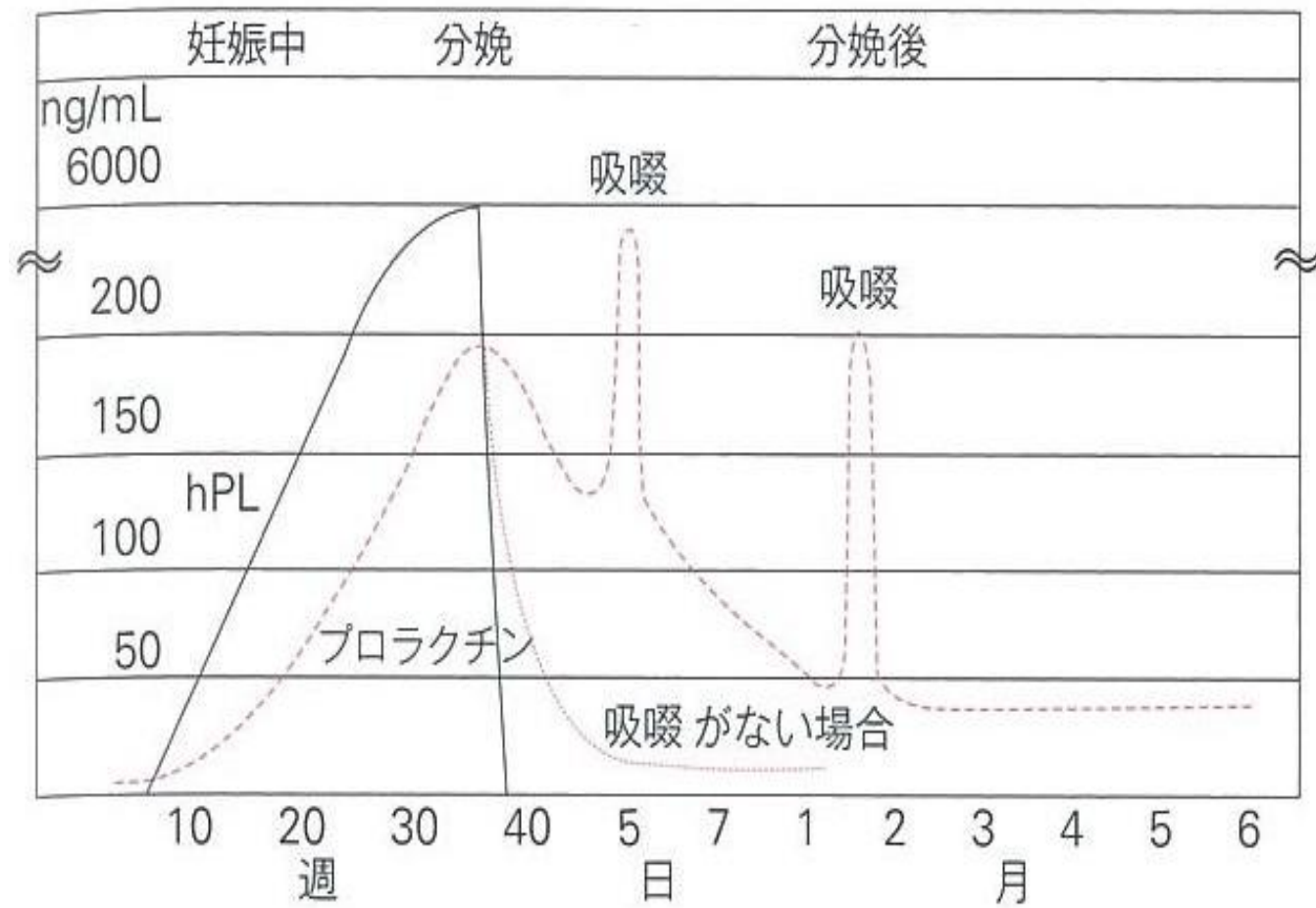
★課題2 → 7月6日(月)8:40提出

様式7-①

産褥1日目の結果(得られた情報、情報の解釈、反応、実施、結果)

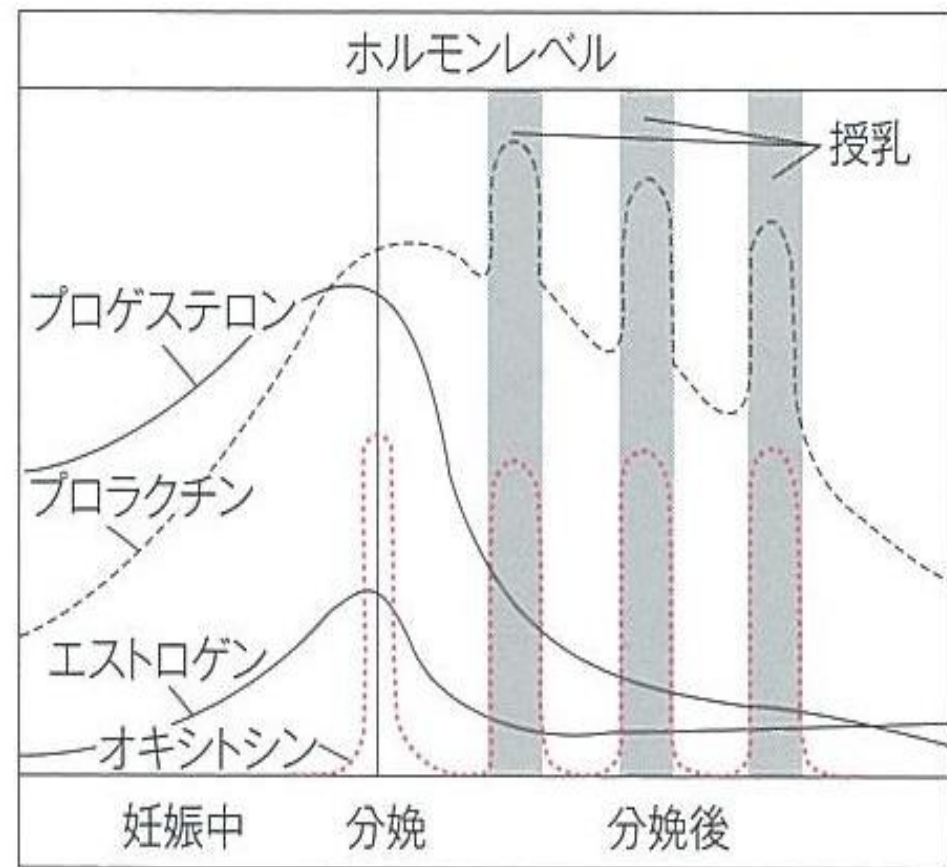
授乳によるホルモンの変動

図4-14 | 妊娠中から授乳中の血中プロラクチン濃度の変化



(Riordan J, editor: Breastfeeding and human lactation. 3rd ed. Sudbury, Mass.: Jones and Bartlett; 2005. Anatomy and physiology of lactation;

図4-15 | 妊娠中から授乳中のホルモン変動



(Riordan J, editor: Breastfeeding and human lactation. 3rd ed. Sudbury, Mass.: Jones and Bartlett; 2005. Anatomy and physiology of lactation; p.76)

乳汁分泌の5段階

表4-2 | 乳汁分泌の5段階

乳腺発育期：Mammogenesis	妊娠初期～中期	乳汁分泌なし
・ 乳腺が発育し、乳房の大きさも重量も増加する ・ エストロゲンとプロゲステロンの作用で乳管や腺組織が増殖する		
乳汁生成Ⅰ期：Lactogenesis I	妊娠中期～産後2日目	初乳分泌
・ 妊娠中期から妊娠末期にかけて乳汁産生が開始する ・ 腺房細胞が分泌細胞に分化する ・ プロラクチンの刺激によって、腺房細胞が乳汁を産生する		
乳汁生成Ⅱ期：Lactogenesis II	産後3日目～産後8日目	移行乳
・ 腺房細胞の密着結合が閉じる(細胞間隙が閉じる) ・ 母親のプロゲステロン濃度が急激に低下することにより引き起こされる ・ 乳汁の分泌量が急激に増加する ・ 乳房の充満や熱感を感じる ・ 内分泌調整から自己分泌調整へと切り替わる		
乳汁生成Ⅲ期：Lactogenesis III	産後9日目～退縮期	成乳
・ 乳汁分泌が確立し維持される ・ 自己分泌システム(需要と供給)により調整される ・ 産後6～9カ月で乳房の大きさが減少する		
乳房退縮期：Involution	最終の授乳～約40日	初乳様乳汁
・ 規則的に補足物が追加される ・ 分泌抑制作用のあるペプチド(FIL)の蓄積により、乳汁分泌が低下する ・ 乳汁中のナトリウム濃度が高まる		

ホルモンに
よって母乳の
分泌が調整さ
れる

エンドクリン
コントロール

赤ちゃんが飲
んだ分だけ母
乳を作る

オートクリン
コントロール

ポイント

(Riordan J, editor: Breastfeeding and human lactation. 3rd ed. Sudbury, Mass.: Jones and Bartlett; 2005. Anatomy and physiology of lactation; p.68 より一部改変)

乳汁産生量と新生児の生理学的な胃の許容量

表 4-3 | 乳汁産生量と新生児の生理学的な胃の許容量

産後時間/ 日数/週/月	1日の乳汁産生量 平均(範囲) mL	体重3kgの場合の 1回許容量 mL	体重1kg当たりの 1回許容量 mL
0～24時間	37(7～123)	6	2
24～48時間	37(7～123)	12	4
48～72時間	408(98～775)	24	8
72～96時間	625(378～876)	42	14
96～120時間	700(452～876)	51	17
4週	750(328～1127)	-	-
3カ月	750(609～837)	-	-
6カ月	800(550～1150)	-	-

※ - 印：データの記載なし

(Walker M: Breastfeeding management for the clinician: using the evidence. Sudbury, Mass.: Jones and Bartlett; 2006. Influence of the maternal anatomy and physiology on lactation; p.78-79/ Royal College of Midwives: Successful breastfeeding. 3rd ed. Edinburgh: Churchill Livingstone; 2002. Understanding how a baby breastfeeds; p.26 より作成)